

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	健康福祉事業	富岡町	22,612,498	20,000,000	
2	地域活性化措置	富岡町図書館運営事業	富岡町	21,406,000	20,000,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	地域活性化措置	健康福祉事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町				
交付金事業実施場所		全国一円（東日本大震災及び原子力発電所事故に伴う避難継続により）				
交付金事業の概要		町民の福祉向上を図るために実施する妊婦健康診査、胃がん検診、高齢者及び小児インフルエンザ予防接種に係る委託費等				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p style="text-align: center;">【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）（2015年度～2024年度） 第3章 基本方針を実現するための重点プロジェクト 4-2 心身ともに健康で安心して生活ができる医療・福祉の充実 3 疫病など予防の積極的な推進 ○健康診査・各種健診の実施と健康づくり事業の推進</p> <p style="text-align: center;">【目標】 ○妊婦健康診査受診者数 延420人 ○胃がん検診受診者数 530人 ○高齢者インフルエンザ予防接種受診者数 2,450人 ○小児インフルエンザ予防接種受診者数 1,200人</p>				
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度		
事業期間の設定理由		単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	評価年度	令和6年度	
		町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349	
				目標値	2,150	
				達成度	109%	
		評価年度の設定理由				
		設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ図ることができないため				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
本交付金の活用により、本年度も妊婦健診、胃がん検診、高齢者インフルエンザ予防接種事業の実施に加え、新たに小児インフルエンザ予防接種への助成金も実施。医療・福祉の充実を目指し事業を行ってきた結果、町内居住の妊婦も増え、町内での検診受診者の増加など町内居住者の増加に寄与した。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	妊婦健康診査受診者数	活動実績	人	425		
		活動見込	人	420		
		達成度	%	101%		
	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	胃がん検診受診者数	活動実績	人	541		
		活動見込	人	530		
		達成度	%	102%		
	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	高齢者インフルエンザ予防接種受診者数	活動実績	人	2,376		
		活動見込	人	2,450		
		達成度	%	96%		
活動指標		単位	令和5年度	年度	年度	
小児インフルエンザ予防接種受診者数	活動実績	人	231			
	活動見込	人	1,200			
	達成度	%	19%			
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	22,612,498					
交付金充当額	20,000,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	20,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
妊婦健康診査委託	随意契約	一般社団法人福島県医師会	4,013,900			
胃がん検診委託	随意契約	一般社団法人日本予防医学協会 公益社団法人福島県保健衛生協会	5,249,640			
高齢者インフルエンザ予防接種委託	随意契約	双葉郡医師会 一般社団法人福島県医師会	11,970,288			
小児インフルエンザ助成金	—	—	1,378,670			
交付金事業の担当課室	健康づくり課 健康づくり係					
交付金事業の評価課室	健康づくり課 健康づくり係					

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	地域活性化措置	富岡町図書館運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町			
交付金事業実施場所		福島県双葉郡富岡町 町内一円			
交付金事業の概要	図書館の管理運営をより円滑に行うために、図書館司書を増員する。図書館における資料・情報の提供を強化することで地域住民の交流を促す。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p style="text-align: center;">【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）（2015年度～2024年度） 第5章 分野別の具体的取組み (2)気軽に立ち寄れるふるさと空間の整備 ①町民が立ち寄り、交流できる場の整備</p> <p style="text-align: center;">【目標】 ○令和6年度 図書館利用者数 23,500人</p>				
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度		
事業期間の設定理由	単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度
	町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349	
			目標値	2,150	
			達成度	109%	
	評価年度の設定理由				
	設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ図ることができないため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	図書館司書を増員することにより、図書館における資料・情報の提供を強化し図書館の充実度をあげることができた。				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度
	図書館利用者数	活動実績	人	18,344	
		活動見込	人	10,000	
		達成度	%	183%	

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	21,406,000			
交付金充当額	20,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	20,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
図書館司書の派遣	随意契約	東京レコードマネジメント	21,406,000	
交付金事業の担当課室	生涯学習課 生涯学習係			
交付金事業の評価課室	生涯学習課 生涯学習係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	消防車両更新事業	富岡町	17,017,000	10,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道沿い植樹柵雑草抑制工事	富岡町	14,080,000	8,500,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町内公園植栽維持管理事業	富岡町	13,451,900	10,200,000	
4	地域活性化措置	町道元無線通り線用地測量業務委託	富岡町	3,386,900	2,400,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道区画線設置工事	富岡町	22,347,600	18,351,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	放課後児童クラブ備品購入事業	富岡町	10,164,000	7,000,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名		交付金事業の名称					
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		消防車両更新事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			富岡町					
交付金事業実施場所			富岡町 町内					
交付金事業の概要			富岡町消防団で使用する消防車両の更新を行う。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標			<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）（2015年度～2024年度） 第5章 分野別の具体的取り組み 2-5 自助・共助・公助による地域の安全・安心な暮らしの確保（地域防災・防犯） （1）災害に対応したシステムの構築 ⑧消防力の維持・強化 【目標】 車両更新完了</p>					
事業開始年度			令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度			
事業期間の設定理由			単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績			成果目標	成果指標	評価年度	令和6年度		
			町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349		
					目標値	2,150		
					達成度	109%		
						評価年度の設定理由		
						設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため		
						交付金事業の定性的な成果及び評価等		
			消防団での活動の安全性が向上し活動を通して町民の安全安心を図ることができた。					
			評価に係る第三者機関等の活用の有無					
			無					
交付金事業の活動指標及び活動実績			活動指標	単位	令和5年度	年度	年度	
			消防車両の購入 1台	活動実績	台	1		
				活動見込	台	1		
				達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等			令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費			17,017,000					
交付金充当額			10,000,000					
うち文部科学省分								
うち経済産業省分			10,000,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
消防車両の更新	指名競争入札	東部産業㈱自動車部	17,017,000
交付金事業の担当課室	生活環境課 消防交通係		
交付金事業の評価課室	生活環境課 消防交通係		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道沿い植樹柵雑草抑制工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町			
交付金事業実施場所		富岡町 町内			
交付金事業の概要		植樹柵の補修を行い雑草を抑制する。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第2編 災害復興計画（第二次）後期 第3章 分野別の具体的取り組み 政策2) インフラ復旧・拠点整備 2-3 災害に備えたまちづくり 具体的な内容：河川、林道など災害に備えたインフラ施設等の日常的な点検の実施</p> <p>【目標】 町内居住者数 2,150人</p>				
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度		
事業期間の設定理由	単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度
	町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349	
			目標値	2,150	
			達成度	109%	
	評価年度の設定理由				
	設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	町内の植樹柵雑草抑制工事により景観がよくなり、間接的に町内に訪れる方も増え居住者も増加した。				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度
	町道沿い植樹柵雑草抑制工事 L=665.02m	活動実績	m	665.02	
		活動見込	m	665.02	
		達成度	%	100%	

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	14,080,000			
交付金充当額	8,500,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	8,500,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
植樹柵の雑草抑制	指名競争入札	渡邊工業株式会社	14,080,000	
交付金事業の担当課室	都市整備課 管理係			
交付金事業の評価課室	都市整備課 管理係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称					
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町内公園植栽維持管理事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町					
交付金事業実施場所		富岡町 町内					
交付金事業の概要		町内全24箇所の公園において、住民が安全に利用し、地域の振興を図るため、また、適切な維持管理を行うことにより、見通しのよい公園とし、獣害等の住みかとならないよう公共用施設の維持管理を目的とした公園内の除草及び植栽管理を行う。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第2編 災害復興計画（第二次）後期 第2章 政策と施策 政策2) インフラ復旧・拠点整備 取組方針：震災や風水害の教訓をいかし、平時より災害に備え、町民生活に安心を与えるまちづくりに取り組みます。 事業：富岡公園等の整備</p> <p>【目標】機能の充実</p>					
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由		単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	評価年度	令和6年度		
		町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349		
				目標値	2,150		
				達成度	109%		
		評価年度の設定理由					
		設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		公園22箇所の植栽について適正に管理を行うことによって、公園の利活用の活性化が図られ、間接的に子育て環境等の整備につながり、一定程度人口の増加に寄与したと考えられる。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標	単位	令和5年度	年度	年度	
		町内公園の植栽維持管理	活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100%		

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	13,451,900			
交付金充当額	10,200,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	10,200,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
町内公園の植栽維持	指名競争入札	株式会社 さくら緑化	13,451,900	
交付金事業の担当課室	都市整備課 都市計画係			
交付金事業の評価課室	都市整備課 都市計画係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
6	地域活性化措置	町道元無線通り線用地測量業務委託			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町			
交付金事業実施場所		富岡町 用内			
交付金事業の概要		県道に直接アクセスできる町道を整備する必要がある、町道を整備する用地の測量を行うもの			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第2編 災害復興計画（第二次）後期 第2章 政策と施策 政策2) インフラ復旧・拠点整備 取組方針：幹線道路の整備や公共交通機関の利便性向上により町内生活環境の向上を図ります。 事業：広域幹線道路へのアクセス道路（町道等）の整備</p> <p>【目標】 町内居住者数 2,150人</p>				
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由	単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度
	町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349	
			目標値	2,150	
			達成度	109%	
	評価年度の設定理由				
	設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	県道への直接アクセスできる道路を整備するための測量が適正に完了したことにより道路整備への着手が可能となり間接的に町内環境の利便性向上に繋がり町内居住人口の増加を図った。				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度
	L=90m	活動実績	m	90	
		活動見込	m	90	
		達成度	%	100%	

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	3,386,900			
交付金充当額	2,400,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	2,400,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
町道整備のための用地測量	指名競争入札	株式会社 ふたば	3,386,900	
交付金事業の担当課室	都市整備課 都市計画係			
交付金事業の評価課室	都市整備課 都市計画係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名		交付金事業の名称					
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		町道区画線設置工事					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			富岡町					
交付金事業実施場所			富岡町 町内					
交付金事業の概要			町内全域において、道路の区画線について損傷箇所を随時設置等実施しているが、未だ損傷箇所が存在するため、区画線を設置する					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標			<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第2編 災害復興計画（第二次）後期 第3章 分野別の具体的取り組み 政策2) インフラ復旧・拠点整備 2-3 災害に備えたまちづくり 具体的な内容：河川、林道など災害に備えたインフラ施設等の日常的な点検の実施</p> <p>【目標】 町内居住者数 2,150人</p>					
事業開始年度			令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由			単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績			成果目標	成果指標	評価年度	6年度		
			町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349		
					目標値	2,150		
					達成度	109%		
			評価年度の設定理由					
			設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため					
			交付金事業の定性的な成果及び評価等					
			区画線のいまだ損傷しているところを整備し、修繕することで町内の安心・安全性が向上し、間接的に町内居住者数の増加を図った。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績			活動指標	単位	令和5年度	年度	年度	
			町道区画線設置工事 L=24,145m	活動実績	m	24,145		
				活動見込	m	24,145		
				達成度	%	100%		

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	22,347,600			
交付金充当額	18,351,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	18,351,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
区画線損傷箇所への設置	指名競争入札	福島ルート産業 株式会社	22,347,600	
交付金事業の担当課室	都市整備課 管理係			
交付金事業の評価課室	都市整備課 管理係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

II. 事業評価個表（令和6年度）

（単位：円）

番号	事業名	交付金事業の名称			
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	放課後児童クラブ備品購入事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		富岡町			
交付金事業実施場所		富岡町 町内			
交付金事業の概要		令和5年度に整備予定である放課後児童クラブの備品を購入する。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第3章 分野別具体的な取り組み 政策4) 健康・福祉・教育 重点政策（10）教育環境の整備 （2）地域交流館の整備などによる地域で子どもを守り育てる取組の推進 ①放課後子ども教室の実施</p> <p>【目標】 導入完了</p>				
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度
	什器備品183点導入	放課後児童クラブ 利用申込者数	成果実績	点	250
			目標値	点	180
			達成度	%	138%
	評価年度の設定理由				
	成果実績を測定次第、評価を実施				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	放課後児童クラブを整備し、開始のための備品等用意したことにより、町内の子供たちを地域で守り育てる場を設けることができ教育関係の充実を図った。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度
	放課後児童クラブ 利用申込者数	活動実績	人	26	
		活動見込	人	26	
		達成度	%	100%	

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	10,164,000			
交付金充当額	7,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	7,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
備品の購入	指名競争入札	サトウ事務器機	10,164,000	
交付金事業の担当課室	教育総務課 総務管理係			
交付金事業の評価課室	教育総務課 総務管理係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	夜の森つつみ公園復旧工事	富岡町	10,068,300	8,000,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名		交付金事業の名称					
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		夜の森つつみ公園復旧工事					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			富岡町					
交付金事業実施場所			富岡町 町内					
交付金事業の概要			夜の森つつみ公園を健康づくりのための運動公園として位置づけしている。 当事業は、つつみ公園をそのような公園にするため遊歩道等の整備工事を行うものである。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標			<p>【主要政策・施策】 富岡町災害復興計画（第二次）後期（2020年度～2024年度） 第2編 災害復興計画（第二次）後期 第2章 政策と施策 政策2) インフラ復旧・拠点整備 取組方針：帰還困難区域全域の再生に取り組みます。 事業：夜の森つつみ公園の整備</p> <p>【目標】 整備完了</p>					
事業開始年度			令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度		
事業期間の設定理由			単年度でその事業の成果目標の到達状況等を確認するため					
交付金事業の成果目標及び成果実績			成果目標	成果指標	評価年度	令和6年度		
			町内居住者数増加	町内居住者数	成果実績	2,349		
					目標値	2,150		
					達成度	109%		
			評価年度の設定理由					
			設定した目標人数の到達具合については翌年度とならなければ計ることができないため					
			交付金事業の定性的な成果及び評価等					
			令和5年に解除された特定復興再生拠点内に有する健康づくりのための運動公園である「夜の森つつみ公園」を整備することにより、町内居住者の増加にもつながった。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績			活動指標	単位	令和5年度	年度		
			夜の森つつみ公園 復旧工事	活動実績	式	1		
				活動見込	式	1		
				達成度	%	100		

交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考
総事業費	10,068,300			
交付金充当額	8,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	8,000,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
夜の森つつみ公園復旧工事	指名競争入札	渡部土木 株式会社	10,120,000	
交付金事業の担当課室	都市整備課 都市計画係			
交付金事業の評価課室	都市整備課 都市計画係			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。